

平成21年12月21日

PTAのみなさまへ

神戸市PTA協議会
会長 三木 秀美

震災15周年をむかえて

～『しあわせ運べるように』を神戸の空に～

あの未曾有の大地震から15年が経とうとしています。

地震の年に産まれた子どもたちも15歳をむかえます。

あの悲惨事の体験はないけれど、ライフラインが途絶え不自由な生活は知らないけれど、あの時生かされた命から産まれてきた子どもたちに「産まれてきてくれてありがとう」と伝えたい。

2010年1月17日、15年目の震災の日、「あの日」を忘れないために兵庫県や神戸市の各地で式典が催されます。

その中でも子どもたちへのメッセージとして『しあわせ運べるように』の歌が歌われます。

神戸市内の学校園に通う児童、生徒だからこそ、その子どもたち自身に心に響くメッセージ・・・いろんな場面、場所で子どもたちと一緒に『しあわせ運べるように』を歌いみんなでその歌声を神戸の空に届けませんか。

たとえば次のような場所、場面があります。

- ・ 県公館、HAT神戸での震災15年追悼式会場からNHKで中継(11:40放映予定)
- ・ 神戸震災復興記念公園(貿易センター南側、旧貨物線路跡)に『しあわせ運べるように』の歌詞と楽譜が刻まれた歌碑の除幕式で明親小学校の児童が歌います。(13:30～)
「児童、保護者をはじめ多くの方々が公園に足を運び一緒に歌ってほしい」との神戸市建設局の依頼があります。
- ・ また例年5時46分にあわせて、集まっている学校や公園
- ・ 夕刻の5時46分にメッセージを発信する学校や地域
- ・ 夕刻に長田大正筋商店街での追悼式会場でも歌われます。
- ・ その他「ひょうご安全の日推進県民会議」発行の『インフォメーション&ガイド』などにも掲載されています。

ぜひこの機会に『しあわせ運べるように』を神戸の空に届け、子どもたちと一緒にあの震災からもらった『命』のリレーを考えるきっかけにしましょう。